

(3)

緑が丘自治だより

令和6年1月1日



朝、雷雨で心配しましたが
昼頃には、太陽も顔を出し賑
わいは最高でした。輪投げ大
会は残念ながら中止となりま
した。

模擬店には子供も大勢集ま
り、口に運ぶ姿が頗もしい限
りでした。

「カラオケ」では、校長先
生、南市民活動センター所長先
の独唱から始まり、どんどん
歌に熱が入り楽しい一日とな
りました。作品展は素晴らしい
彫刻、絵、写真、工夫した
衣類等が展出されました。

(三) コミセンまつり

十月二十八日(土)



建築全般 真心の住い造り (有)坂本工務店

令和6年1月1日

緑が丘自治だより

(2)



天候に恵まれ、午前中は輪
投げ大会、夕方から宇都宮ブ
レックスのブレクシーと子供
のダンス、夜は子供と大人の
盆踊りで賑わいが最高潮とな
りました。

コロナの影響が随時僅かな
がらも回復して来た今日、諸
団体の活動が動き出し始めま
した。当まちづくり協議会も
「ふるさとまつり」、「コミセ
ンまつり」、「健康ウォーク」
の活動が出来ましたのも皆様
のご協力の賜物と深く感謝申
し上げます。活動の概要は以
下の通りです。

(一) ふるさとまつり

七月二十九日(土)



運動不足解消をめざして
頑張って参加した多くの方々
が、総合運動公園のカンセキ
スタジアム、小平重吉銅像や
水生公園を回るコースを約一
時間かけて元気にウォーキン
グを楽しみました。

「白杖ときずなロープ」を
頼りに仲間と散策したグル
ープなど、楽しい楽しい思い出
と共に重い餅袋を手に元気に
帰宅しました。最終ランナー
となった二人の子供さんも元
気に戻り、お菓子袋を下げて



帰路に着きました。全員無事
に帰還し安堵の顔と顔を見合
わせました。

笑顔の輪を求めて

緑が丘地域まちづくり協議会
事務局長 岡田 米男

投げ大会、夕方から宇都宮ブ
レックスのブレクシーと子供
のダンス、夜は子供と大人の
盆踊りで賑わいが最高潮とな
りました。

(二) 健康ウォーク

十一月十八日(土)

帰路に着きました。全員無事
に帰還し安堵の顔と顔を見合
わせました。

良い商品をより安く《タオル・カレンダー等》(有) カインド・リーフ

私たちの主な活動は、市・市社会福祉協議会との連携・協力の下、ひとり暮らしの高齢者対象の「さわ会」や七十五歳以上の皆様の「緑が丘地区敬老会」と記念品のお届け、「赤い羽根・歳末助け合い募金」への協力等です。このため、本会の役員は、自治会長、民生委員・児童委員、老人クラブ、女性部、福祉協力員と、地域活動自粛等のリスクを踏まえ、本年度も「形を変えて、規模を縮小しても」との意気込みで取り組みました。

【さわ会・給食交流会・管外給食会】

本地区さわ会の伝統ともいえる担当地区の皆様の「手作

り弁当」を「外部発注弁当の持ち帰り」とした昨年度から一年、今年度は四月の第一回目から手作り弁当をアトラクションとともに楽しんでいただきました。当初は感染症の不安から、座席は教室型としましたが、六月からは向き合い型となり、弾む会話と笑顔のひとときを過ごしていただきました。

十月には、緑が丘小児童の皆さんとの交流会。インフルエンザ等の流行の兆しも窺われたことから給食会は次年度の楽しみとし、体育館で一・二・五年生の児童の皆さんそれぞれの表現活動（集団演技）を観賞、終了後には、「高齢者の皆様へ」という感謝のお手紙を児童の皆さんから手渡されました。高齢者の皆さんの嬉々とした表情に、子供たちとのふれあいの効果を改めて実感させられました。



【敬老会（式典・邦樂会）】九月十八日（敬老の日）、緑が丘小体育館で敬老会を実施しました。今年度の対象者数は千八百七十八人、うち新百歳者は二名と、どちらも昨年度と同数でした。簡素化した式典後の第一部では、「和太鼓衆阿・吽」の皆さんとの和太鼓演奏と「栄久会・幸謡会」の皆さんとの津軽三味線と民謡、そして、出演後の「阿・吽」の皆さんとの「津軽三味線・民謡」のリズムに合わせた踊りのコラボは、お祝いの雰囲気を一気に盛り上げて、参加された約三百名（役員を含む）の皆さんにとっても印象に残るフィナーレとなりました。

創立五十二年目を終えて

緑が丘体育協会

会長 寺内 利夫

コロナ禍で活動が制約されてしまいましたが、今年は通常の活動にもどすことができました。

勝敗にこだわらず「交流の場づくり」を推進してきましたが、多くの成果をあげることができました。

また宇都宮市民のスポーツの祭典「市民スポーツ大会」においては「剣道の部」（緑三丁目黒子監督）で昨年につづき二連覇を達成しました。

第36回卓球大会
優勝 双葉1丁目自治会第31回輪投げ大会
優勝 双葉1丁目自治会第40回バドミントン大会
優勝 双葉1丁目自治会第51回ソフトボール大会
優勝 緑2丁目自治会第52回体育祭
優勝 東原南自治会第25回一般ソフトボール大会
優勝 緑3丁目自治会

令和5年度大会成績

	東原北	東原南	東浦	双葉一	双葉二	江曽一	江曽二	緑一	緑二	緑三	最優秀選手
第40回バドミントン大会		第三位	第三位	優勝	準優勝						加藤 友晴(双葉一)
第31回輪投げ大会			第三位	優勝				準優勝			新沼 隆三(東浦)
第51回壮年ソフトボール大会			第三位					第三位	優勝	準優勝	松本 一輝(緑二)
第50回簡易バレーボール大会											
第25回一般ソフトボール大会		第三位		第三位		準優勝		優勝			佐藤 大(緑三)
第50回簡易バレーボール大会											
第52回体育祭	第七位	優勝	第三位	第九位	第五位	第六位	第十位	第四位	第七位	準優勝	
得点	[46]	[80.5]	[61]	[41]	[58]	[55]	[35]	[58.5]	[46]	[70]	
第32回輪投げ大会											
第36回卓球大会	第三位	第三位	優勝					準優勝			鶴渕 泰子(双一)

この思いは、私が緑が丘地区の方々と接している折に、幾度となく伝えていたいいるものです。

「子どもは宝」

「子どもを中心において」この思いは、私が緑が丘地区の方々と接している折に、幾度となく伝えていたいいるものです。

登下校時の子どもたちは、見守りボランティアの皆様の温かなまなざしと笑顔、そして「気を付けて」「元気で」などの言葉かけに、日々、包まれています。

賑わいを取り戻し始めた学校生活

緑が丘小学校PTA
会長 森田 直樹

が元気に大きな声を出して楽しそうに踊っていました。これからも、いろいろな行事に沢山の参加をして頂くには、新しい考えも取り入れてが輝いていました。その他、夏祭り、コミセンで退場していました。

盛大に開催された地区体育祭では、多くの大人の皆様に囲まれながら、嬉しそうに入場進行してきた子供たちの姿が輝いていました。

新年度もいろいろな活動がござりますが、参加ご協力をお願い致します。

小学校は給食もグループで食べられるようになり、運動会は声出しの制限がなくなり、徐々に賑やかな学校生活が戻ってきています。しかし、現在四年生以下の子供たちは「コロナ前」を知りません。そういった子たちにも学校が楽しい場所で、地域や保護者によって支えられている

健康寿命を延ばす活動二十年

緑が丘地区健康づくり推進協議会
会長 篠原 久恵



に、お手伝いさせていただきたいと思います。

コロナの中で、なかなか色々な行事が出来ず、今年度は、さわ会、みどり祭、体育祭等開催され、地域の方々と楽しむ事が出来ました。

女性部も、四年ぶりに、福島方面に研修旅行に行つきました。小雨が降る道中でしたが、塔のへつり、お屋は、ネギ一本で食べる「そばセツト」を寒いなか、ふるえながら食べ、鶴ヶ城を見学と、充実した研修でした。

これからも、女性部は、地域の皆様や、連合会の行事と連携を取りながら、ささやか

みなさまのスーパー たいらや緑店



これからも、目標に向けて活動していただきたいと考えています。皆さんの参加をお待ちしています。

緑が丘体育祭では、毎週積み上げてきた運動の成果を地域の皆さんに見てもらい、コニセソウ祭での血管年齢や体脂肪、握力測定では、結果を楽しみに話し合う光景も見られました。また、バスで出かけたハイキングには四十五人が参加、バラの花を満喫しました。

(7)

この思いは、私が緑が丘地区の方々と接している折に、幾度となく伝えていたいいるものです。

「子どもは宝」

「子どもを中心において」この思いは、私が緑が丘地区の方々と接している折に、幾度となく伝えていたいいるものです。

登下校時の子どもたちは、見守りボランティアの皆様の温かなまなざしと笑顔、そして「気を付けて」「元気で」などの言葉かけに、日々、包まれています。

過日、本校体育館で行われた「お年寄りの皆様との交流会」でダンスを披露した子どもたちは、大きな拍手とともに「プラボー！」などの声もいただき、満足しきった表情で退場していました。

盛大に開催された地区体育祭では、多くの大人の皆様に囲まれながら、嬉しそうに入場進行してきた子供たちの姿が輝いていました。

青少年育成会活動紹介

緑が丘地区青少年育成会
会長 石川 清

毎年こども会育成会と合同で研修旅行を開催しています。目的は、「生きる力」をはぐくんで貰うことになります。そのためには地域社会の中で大人や様々な年齢の友人と交流し、様々な生活体験、自然体験を豊富に積み重ねることが大変重要であると考えています。



「可愛い子には旅をさせよ」

子ども会育成連絡協議会
会長 加藤 孝明

過年度の事業になりますが、福島県のあぶくま洞見学は、「八千万年の歳月をかけて作られた鍾乳洞で、自然のスケールを実感して貰い、山梨ではリニア・モーターの試験走行を目の当たりにして、次世代の交通手段から、時間革命を理解して貰う機会とします。

青少年育成会は、社会教育の一環として余暇活用の機会活動など、地域の方々との様々な触れ合いの場で、子どもたちを大切に思つてくださいさつている「愛」が、本校児童の心を豊かに育んでいます。

緑が丘地区で育った子どもたちは、将来もきっと、ふるさとに愛されて育つことに感謝すると思います。短い間ですが、私もこの場所にいらされることをとても幸せに感じております。

今後も様々な機会を通じ、逞しく成長できる企画を提案していきたいと考えています。

ました。

～患者さんに寄りそう医療を～ 生協ふたば診療所